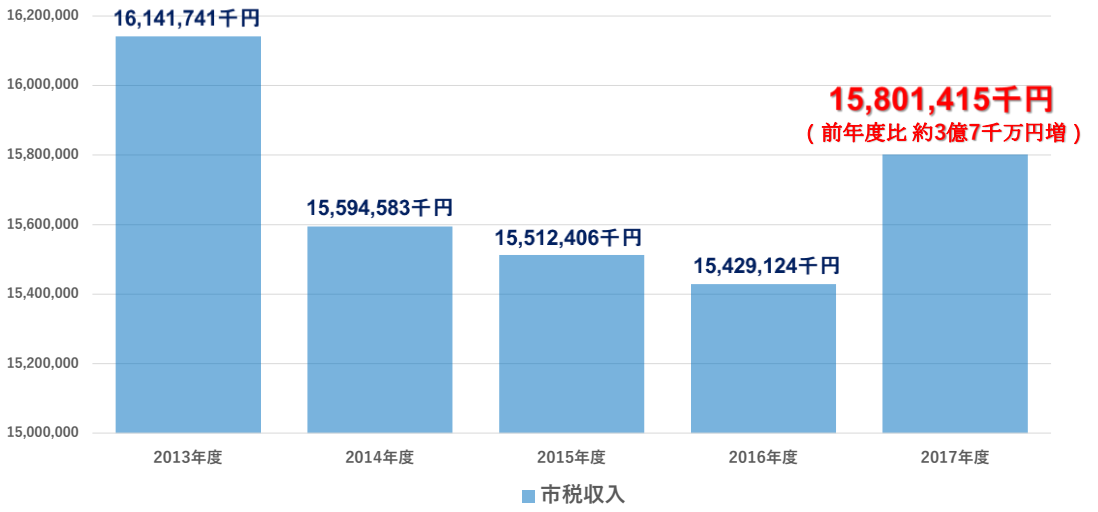
ワクワク度日本一のまち実現に向けて

２０１９年８月２６日

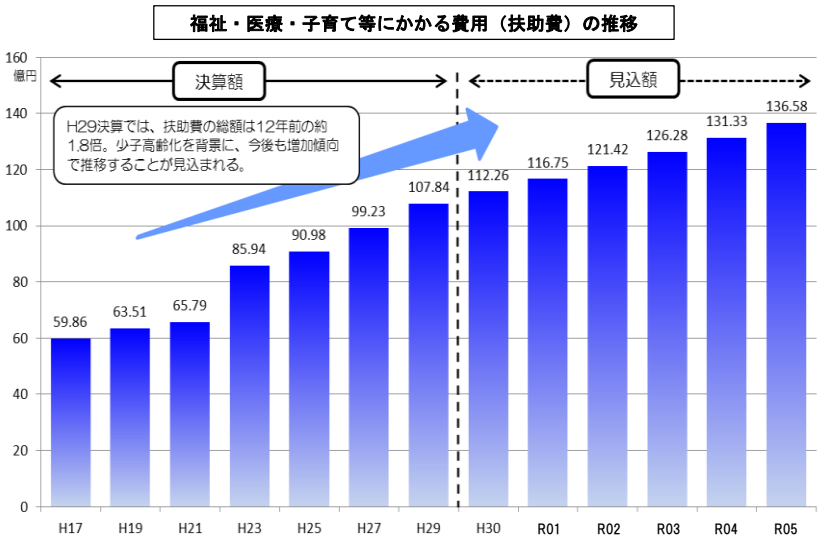
西条市長　玉井 敏久

減少傾向が続いていた市税収入が2017年度には増加に転じる



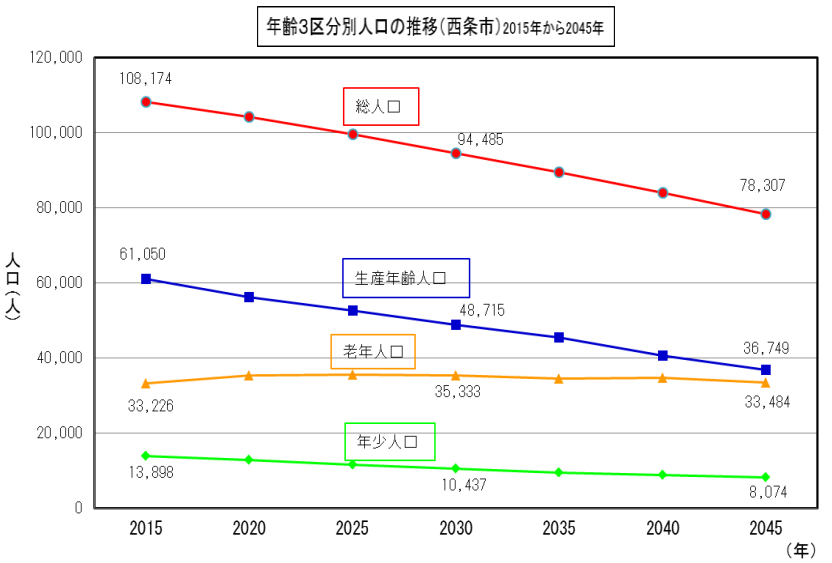
※ 一方で、歳出増加も続いており、継続した財源確保に取り組んでいく必要がある。

増え続ける扶助費



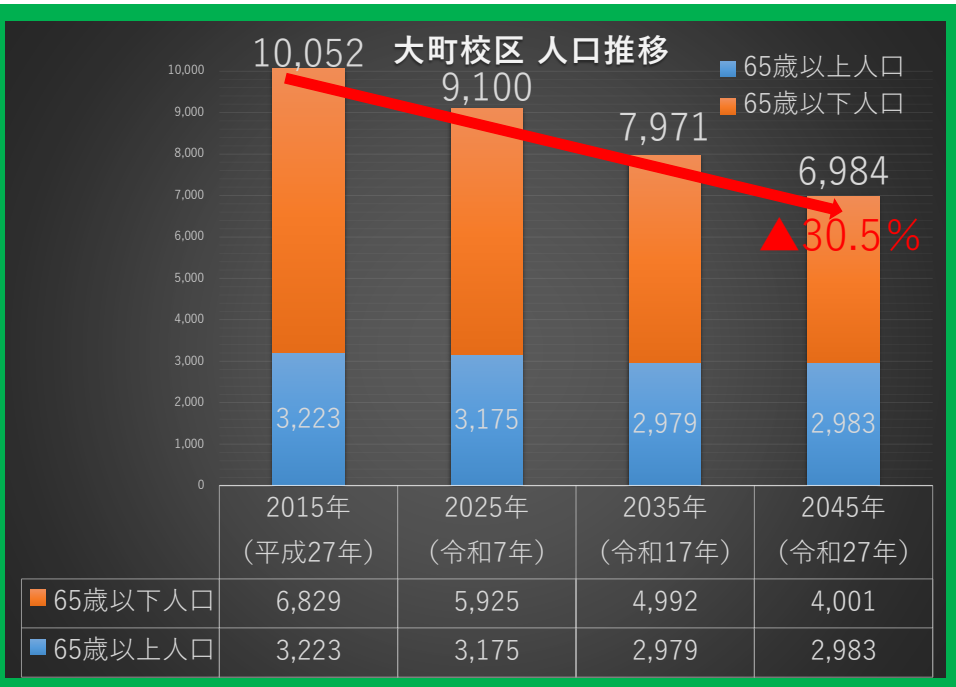
少子高齢化を背景に、**<u>福祉・医療・子育て等に係る費用（扶助費）は、今後も増加傾向で推移</u>**するものと予測されます。

西条市の人口推計



増え続けてきた老年人口も2025年にピークを迎え、その後はすべての区分で人口減少が見込まれています。

<u>人口が減少することにより、市税や地方交付税の減少</u>が見込まれます。

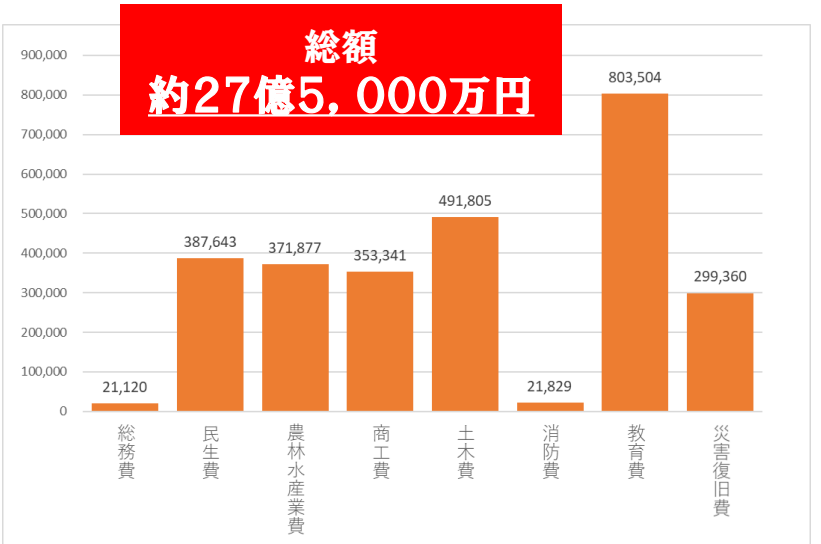


	2015年（平成27年）	2025年（令和7年）	2035年（令和17年）	2045年（令和27年）
65歳以下人口	6,829	5,925	4,992	4,001
65歳以上人口	3,223	3,175	2,979	2,983

出典：2015年国勢調査を参考に西条市自治政策研究所が作成

獲得した新規補助金等の累計

（2017年度～2018年度予算分）



主な事業

2017年度

国民体育大会市町等競技施設整備費
地方創生推進交付金
丹原中央公園･小松中央公園整備事業費
ＩＣＴを活用したスマートスクール実証事業費
社会福祉施設建設事業費

2018年度

小中学校空調設備整備事業費
（仮称）新泉町団地整備事業費
移住促進事業費
国営ほ場整備事業費
地域子育て支援センター事業費
ＩＣＴを活用したスマートスクール実証事業費

～ワクワク度日本一のまちづくりに向けて～
５つの基本政策

◇「市民主役の西条」の実現！
◇「住みたい西条」の実現！
◇「市民と進める行財政改革」の実現！
◇「夢が持てるまち西条」の実現！
◇「つながり広がる西条」の実現！

◇「市民主役の西条」の実現に向けて◇

モデル地区を中心に
地域自治組織設立に向けた
動きが進んでいます

【進展】

橘未来づくり協議会とのパートナーシップ協定

■平成２９年度から「地域自治の実現」と「市民と行政の協働によるまちづくり」を推進。

■令和元年6月24日に市と「橘未来づくり協議会」でパートナーシップ協定を締結。

■大町校区で7月26日に「大町地域づくり協議会」が設立。

■国安・小松・田滝校区で設立に向けた話し合いが進行中。

◇「住みたい西条」の実現に向けて◇

２０１８日本ＩＣＴ教育アワードを受賞しました

【進展】

■全国ＩＣＴ教育首長協議会の加盟自治体で最も優れた自治体に贈られる「２０１８日本ＩＣＴ教育アワード」を受賞。

■ 全国各地から視察の依頼が相次いでいる。

◇「住みたい西条」の実現に向けて◇

健康都市を目指す第一歩として「わくわく健康ポイント」を2018年度から開始しました

【進展】

■ウォーキングや健康診断を受診するとポイントがたまり、商品券などに交換ができる「わくわく健康ポイント」を推進。

■市民の健康増進を図ることで健康上問題が無い状態で日常生活を送れる期間である「健康寿命」を延伸することが目的。

◇「住みたい西条」の実現に向けて◇

すべての小中学校と公立幼稚園へエアコン整備を進めています

【進展】

■他の県内自治体の動きに先駆けて小中学校と公立幼稚園へのエアコン設置事業に着手。

■着々と設置工事が進んでおり、今年度中に市内すべての小中学校と公立幼稚園にエアコンを設置予定。

◇「夢が持てるまち西条」の実現に向けて◇

日本オリンピック委員会（ＪＯＣ）の競技別強化センターに認定されました

【進展】

2020東京五輪出場につながる「コンバイドジャパンカップ西条」の様子

■「石鎚クライミングパークＳＡＩＪＯ」に国内でも数少ないスピード競技場を整備。

■日本オリンピック委員会（ＪＯＣ）から競技別強化センターの認定を受ける。

■昨年１０月にオーストリア共和国と日本代表チームの合同合宿を開催した。

■世界選手権代表を決定する「コンバインドジャパンカップ」の誘致に成功した。

◇「夢が持てるまち西条」の実現に向けて◇

情報通信技術（ＩＣＴ）を用いたスマートシティの取組が進んでいます

【進展】

見守りロボット「パペロ」が高齢者と話す様子

■ＩＣＴを活用して地域が抱える様々な課題の解決を図る「スマートシティ」を推進。

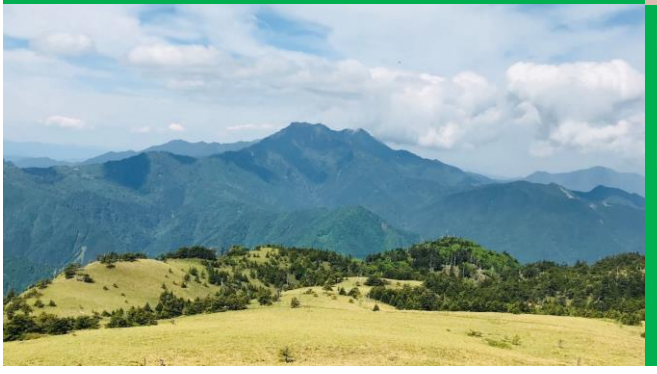
■ＩＣタグを使った高齢者見守り、わくわく健康ポイント、健診ＷＥＢ予約システムや子育てモバイルサービスの導入、排水機場水位の遠隔監視実証実験に取り組んでいる。

◇「夢が持てるまち西条」の実現に向けて◇

石鎚山系のブランドと地域観光を形成する取組を進めています

【進展】

７月１日オープン「アウトドアオアシス石鎚」



■石鎚山系のブランド価値創造を目指し、平成２９年３月に西条市、久万高原町、高知県いの町、大川村で包括的連携協定を締結。

■平成２９年９月に国内有数のアウトドア用品メーカーのモンベル社と包括連携協定を締結。本年７月１日に「アウトドアオアシス石鎚」をリニューアルオープン。

■昨年１１月に魅力的な観光地域の形成を進める法人「株式会社ソラヤマいしづち」を設立。

◇「つながり広がる西条」の実現に向けて◇

国際化を推進するため 都市間交流に力を入れています

【進展】

オーストリア共和国セーボーデン市長らと

ベトナムフエ市伝統工芸フェスティバルで西条市をＰＲ

■昨年４月には、ベトナム社会主義共和国フエ市と友好都市提携を締結した。

■昨年４月には、内閣府からオーストリア共和国の「ホストタウン」の認定を受けた。

■本年５月には、オーストリア共和国セーボーデン市と友好都市提携を締結した。

大きなまち

「2019年版住みたい田舎ベストランキング」全部門で四国第１位を獲得しました！！

部　　門	全国ランキング（人口10万人以上）	四国ランキング
総合部門	１２位	１位
若者世代が住みたい田舎部門	５位	１位
子育て世代が住みたい田舎部門	１５位	１位
シニア世代が住みたい田舎部門	１３位	１位
自然の恵み部門	５位	１位

平成30年度、完全無料で個別対応型の移住体験ツアーや「えひめ西条！移住応援大使」の起用によるプロモーション活動など各種移住施策の推進により、移住担当課を経由した実質的な**移住者数前年度比が約３倍に！**

(株)宝島社出版『田舎暮らしの本』の２月号特集「2019年版 第７回住みたい田舎ベストランキング」

西条地区に
関係する事業

古川玉津橋線の
道路改良が完了しました

完成状況

完成状況

■古川玉津橋線の延伸工事が完了し、本年４月１日に供用を開始。

■緊急輸送路である国道１１号西条市バイパスまで連結したことで、国道朔日市線をはじめ周辺道路の渋滞緩和が図られた。

喜多川朔日市線の改良事業を進めています

整備状況

整備状況

■御殿前通りから喜多川通りまでの区間（約１㎞）を整備。

■将来的に、災害時の避難路および延焼遮断効果による防災機能の向上が図られる予定。

■完成年度　令和２年度（予定）

■総事業費　約２４億円

東部公園の整備を進めています

整備状況

完成予想図

■東部地域におけるレクリエーションや防災の拠点となる東部公園の整備を推進。

■将来的に、市民の健康増進、交流や憩いの場として活用されることを期待。

■完成年度　令和３年度（予定）

■総事業費　約７億１，０００万円

今後も引き続いて
ワクワク度日本一のまちづくりを
推進していきます

西条市長　玉井 敏久

（参考）市長就任後における西条市政のあゆみ

◆ 「市民主役の西条」の実現に向けて

- 「地域コミュニティのあり方研究会」を発足（2017.10）
- 多様な市民の意見を伺う「若者会議・女性会議」を開始（2017.11）
- 「橘未来づくり協議会」と市によるパートナーシップ協定締結（2019.6）
- 大町・国安・小松・田滝校区において地域自治組織の取組を開始（2018.1）
- 地下水を守る姿勢を胸に県提案6項目に対する回答を提出（2019.3）

◆ 「住みたい西条」の実現に向けて

- 県内で初めて中学2年生を対象に無料のピロリ菌検査を開始（2017.12）
- 小中学校と公立幼稚園へのエアコン設置を開始（2017.12）
- 全国ICT教育首長協議会 「日本ICT教育アワード」を受賞（2018.1）
- 西消防署河北出張所整備事業を着工（2018.7）
- ウォーキングでポイントが貯まる「わくわく健康ポイント」を開始（2018.7）
- ICTを活用した高齢者見守りシステムを全市域に拡大決定（2019.3）

（参考）市長就任後における西条市政のあゆみ

◆ 「市民と進める行財政改革」の実現に向けて

- 大規模な機構改革を実施（2017.4）
- 西条市では初めて総務省から副市長を招聘（2017.7）
- 中四国初の自治体シンクタンク「西条市自治政策研究所」開設（2017.11）
- 将来世代に負担を残さぬよう水道料金・下水道使用料を見直し（2018.2）
- 平成29年度と30年度で約29億7,900万円の新規補助金等を獲得

◆ 「夢が持てるまち西条」の実現に向けて

- 情報通信技術（ICT）を活かしたスマートシティの取組を推進（2017.4）
- 石鎚クライミングパークに国内でも数少ないスピード競技場を整備（2018.10）
- 石鎚クライミングパークがJOC競技別強化センターに認定（2018.5）
- 「西条市ワクワク大賞」を創設（2018.10）
- 地域観光サービス統括会社「株式会社ソラヤマいしづち」設立（2018.11）
- オーストリアクライミング協会と友好交流に関する覚書を締結（2019.3）
- スポーツクライミング 第２回コンバインドジャパンカップを誘致（2019.5）

（参考）市長就任後における西条市政のあゆみ

◆ 「つながり広がる西条」の実現に向けて

- アウトドア用品メーカーのモンベル社と包括連携協定締結（2017.9）
- 学校法人松山大学と包括的な連携協定を締結（2017.9）
- 「LOVE SAIJOファンクラブを開設し会員2,000名を突破（2018.4）
- ベトナム社会主義共和国フエ市との友好都市提携を締結（2018.4）
- 内閣府からオーストリア共和国のホストタウンの認定を受ける（2018.4）
- 他の県内自治体よりも素早く西日本豪雨の被災地に物資を輸送（2018.7）
- オーストリア共和国セーボーデン市との友好都市提携を締結（2019.5）